

青少年育成センターだより

第146号 2022.11.1

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-23-3013



「ほんとうの人間らしいよい子というのは、やはり、心豊かなあたたかい家庭という『土づくり』の中で育つようだ」
(東井義雄 教育者)

子どもにとって、心豊かなあたたかい家庭をつくるのは私たち大人の責任です。農業の基本は「土づくり」と言われますが、子育ての基本も「家庭づくり」です。

本当に大切なものは？



「あなたにとって大切なものは、何ですか？」と問われたら、何と答えられますか。

「家」「車」「お金」「宝石」・・・等々と答えられるのでしょうか。確かに、これらは生活する上や生活の潤いには必要なものなのでしょう。しかし、本当に大切なものとは、そのようなものなののでしょうか。

「家」「車」「お金」「宝石」等、このような目に見えるものや形あるものはいつかは崩れたり、なくなったりします。そして、これらは手に入るともっと高価なもの、もっとたくさん欲しくなったりするものです（物欲と言います）。しかし、これらを手に入れるには限界があり、ものに執着すると人はかえって苦しくなってしまうのです。

私は、本当に大切なものとはそのようなものではなく、人であったり、目に見えないものなのではないかと思えます。人であれば「子ども」「親」「夫」「妻」「友だち」等、そして、目に見えないものであれば「命」「愛情」「神様」「仏様」等・・・。

お金で「命」は買えません。「愛情」も買えないのです。当然「人」も買うことができません。お金で買えるものには限界があります。しかし、一番価値があるものはお金であるという考え方をしている人が多いような気がします。お金を得るために罪を犯したり、事件を起こしたりする人たちのニュースが度々聞かれます。本当に悲しい話です。

「うちには子どもがたくさんいたのでお金で困ったり、生活をするのに大変だったけど、本当に子どもがいて良かった」と言われることをよく聞きます。まさに、子どもこそ財産です。また「困っている時に、真剣に話を聞いてくれる相談できる友人がいる」と言うことも聞きます。その人にとって友人が財産なのです。

今年2月のある日のニュースです。6歳の男の子が、水路に転落し、動けなくなっている82歳のおじいちゃんを発見し、救助につなげたというニュースが流れました。その子に「なぜ、おじいちゃんを助けたの？」とアナウンサーが尋ねたところ、「僕の友だちだから。大事な人だから」と答えていました。その言葉を聞き、子どもってこんなに純粋なんだと心がほっこりさせられました。年齢がこんなに離れていてもそれでもおじいちゃんを友達と言える子どもらしい感性に感心させられました。きっとこの子の家庭は、温かいのだろうなと思われました。

この男の子が持っている「優しさ」は、お金では買えません。この男の子のような優しい子がたくさん育ち、お金で買えないものが大切にされる世の中になれば、もっとこの世の中も生きやすくなるのではないのでしょうか。戦争も起こったりはしないでしょう。

子どもと一緒に「本当に大切なものとは何か」考えてみませんか。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村